

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 1040014 001

【1.基本情報】

事業名	運動を通じた健康づくり支援			
担当部名	保健衛生部		担当課名	北保健センター
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体 岐阜市
実施期間	H17 年度～	年度	根拠法令・関連計画	介護保険法 健康増進法 高齢者福祉計画 ぎふ市民健康基本計画

【2.事業概要】

事業の目的	市民の健康寿命延伸を図るため、フレイル予防及び生活機能の低下予防、介護予防の観点から、市民と協働で運動を通じた健康づくり活動及び介護予防活動を地域において展開する。				
事業の内容	フレイル予防、生活機能低下及び介護予防に効果的な「いきいき筋トレ体操」を市民に普及する「いきいき筋トレサポーター」を要請するため、「いきいき筋トレサポーター養成講座」を開催する。さらに、講座を修了した「いきいき筋トレサポーター」が地域において「いきいき筋トレ体操」普及啓発活動を円滑にすすめることができるよう研修会等を定期的に実施する。また、広報等で市民に広く「いきいき筋トレ体操」を普及啓発をはかる。				
事業の対象	何を	いきいき筋トレ体操			
	誰に	1. いきいき筋トレサポーター養成講座参加者(R3年13名) 2. いきいき筋トレサポーター(R3年登録者数182名) 3. いきいき筋トレ体操参加者(R3年参加者延べ数7,042名)			
	どのくらい	1. いきいき筋トレサポーター養成講座(1会場6回×1クール) 2. いきいき筋トレサポーター交流会及び体力測定(R3コロナのため中止) 3. フォローアップ研修会(R3コロナのため中止) 4. 合同調整会議(1回実施) 5. いきいき筋トレサポーター活動数(R3延べ502回) 6. 筋トレ体操定期開催会場数(R3.4月現在124か所)			
令和3年度 (実施内容)	1. いきいき筋トレサポーター養成講座の開催 2. いきいき筋トレ体操普及啓発用DVD、リーフレットの増刷 3. 合同調整会議でコロナ禍における活動支援について講師と調整				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	13,838	407	11,375	350	3,553	110
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	13,838	407	11,375	350	3,553	110

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
報償費	778		169	168
消耗品費	227		506	385
印刷製本費	257		358	110
減価償却費 【施設管理】 (C)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	
計(D)=B+C	0	0	0	0
計(D)=B+C	1,369	1,369	1,385	870

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	15,207	12,760	4,423

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	273	277	174
県支出金	171	173	108
市債			
使用料・手数料			
その他	924	935	587
計(F)	1,368	1,385	869

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	13,839	11,375	3,554

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	45,286	5,440	7,042
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	306	2,091	505

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	いきいき筋トレサポーター養成講座・フォローアップ研修会等	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	10	10	10
実績値	10	5	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	いきいき筋トレ体操参加者延数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	21,240	21,240	22,320
実績値	45,286	5,440	7,042
達成状況	○(達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	住み慣れた地域で生涯にわたり、心身ともに健康でいきいきと暮らしていくことができるよう、介護予防に取組む必要がある。「いきいき筋トレ体操」は高齢者が気軽に取り組むことができる運動として広く市民に普及していることから、社会的ニーズに合っている。 市民の健康寿命の延伸を図るために、特にコロナ禍におけるフレイル予防及び生活機能低下・介護予防の観点から、地域住民が主体的に健康づくりに取り組めるよう本市が支援する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	いきいき筋トレサポーターは市内ほぼ全域においてボランティアで活動しており、費用対効果は高い。 本市と市民である「いきいき筋トレサポーター」が協働で取り組んでいる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	R3年度もコロナウィルス感染症の影響で活動を休止する会場が多くあったが、徐々に再開し、昨年より参加者数は増加した。昨年中止した養成講座をR3年度は実施し、新しい筋トレサポーターが加わった。今後も感染対策を講じながら筋トレ体操の普及啓発を継続し、高齢者の介護予防に取り組む。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	いきいき筋トレサポーターによる普及啓発活動は、市内50地区全域において行われており、公平性は保たれている。 その他、いきいき筋トレ体操の動画をホームページにアップし、市民誰もが活用できるようになっている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	超高齢社会を前に、筋トレ体操会場は、介護予防のための住民主体の集いの場として重要な役割を果たしている。 地域包括ケアシステム構築の一環として今後もこの事業は、現状を維持し、継続する必要がある。